

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：事務局費

## 事業名 岐阜県立高等学校活性化推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育総務課 教育企画第二係 電話番号:058-272-1111(内 3518)

E-mail: [c17765@pref.gifu.lg.jp](mailto:c17765@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 1,000 千円 (前年度予算額: 1,118 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,118	0	0	0	0	0	0	0	1,118
要求額	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
決定額	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

県の附属機関「県立高等学校活性化計画策定委員会(H26~27)」の報告を受け、高校の具体的な活性化策を含めた各年度の「検討まとめ」を公表するとともに、県民の理解を促進する。

## (2) 事業内容

第3次岐阜県教育ビジョンにおける基本方針のひとつである「ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成」に位置づけられる「県立高校の魅力化」の視点を踏まえ、高校の具体的な活性化策を計画、発表し、それらを含めた各年度の「検討まとめ」を公表することで高校改革に対する県民の理解を促進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	407	業務旅費
需用費	538	資料作成費、チラシ印刷費
役務費	25	郵便代、電話代
使用料	30	会場借上料
合計	1,000	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン（R1～5）
  - ・基本方針1 ギフへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成
  - 目標6 未来を創り出す人材を育成する学校づくりと地域との連携の推進

(2) 国・他県の状況

- ・教育再生実行会議においても「新時代に対応した高等学校改革」について新たに議論が開始（H30.8）されたところであり、他県においても高校の活性化や整備計画が進められている。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 高校の特性に応じた各校の具体的活性化策を含む各年度の「検討まとめ」を公表し、県民の理解を促進する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H )	(H ) (H )	(H )	(H )	%
	(H )	(H ) (H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

県の附属機関から提出された「審議まとめ」に対する意見聴取を実施し、県立高等学校活性化の基本方針を含む「検討まとめ」を公表しており、それをもとに、各校における具体的活性化策の計画、準備をする段階であるため。

### （前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
 令和3年度実施の活性化策（入学者選抜制度に関する変更及び学科改編等）の検討、準備。  
 令和4年度実施の活性化策（学科改編等）の検討、準備。

### （前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
 地域連携による活力ある高校づくり推進事業の継続。  
 令和3年度実施の学科改編等の発表。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
○	今後の中学校卒業予定者数の急減の中、教育の水準向上や機会均等、産業構造や社会のニーズ等の変化に対応した県立高等学校改革が必要であるため。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
○	検討まとめを発表することにより、県立高校活性化の方向性が明確となっており、これに基づいた具体的な活性化策の検討が、各校で行われている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
○	具体的な活性化策について学校とともに検討を進め、順次、学科改編等の具体的な活性化策を発表していくこととしている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul> <p>今後、教育の水準向上や機会均等、産業構造や社会のニーズ等の変化に対応した県立高等学校改革が必要である。</p>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul> <p>個別の活性化策を含めた「検討まとめ」を、年度ごとに発表する。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	